

平成 29 年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」ご意見と回答

質問 1 防災無線について	10 月 12 日（木）きらら館
<p>防災行政の無線スピーカーについて、文教公園の 4 号線周辺は聞こえないので何とかしてもらえないですか。</p>	
回答	
<p>同様に、何か所かの地区から意見を頂いており、対応をしています。現場を調査しながら、角度や音量を調整して解決します。まず現場を調査させていただき、対応の方向性について返事を早急にさせていただきたいと思います。</p>	

質問 2 自主防災組織について	10 月 12 日（木）きらら館
質問 1	
<p>現在 2 つの自治会にしか自主防災組織がないと思います。下野市として自主防災の組織が現状でいいとお考えになっているのですか。</p>	
質問 2	
<p>既に活動を開始している自主防災組織が、どんなことをこれから行っていけばいいのか悩んでいます。既成の自主防災組織に対する指導があまりにも少なく、その育成をどう考えていますか。</p>	
回答	
回答 1	
<p>自主防災組織は、現在市全体では 9 組織（石橋が 2 組織、南河内で 7 組織）が活動されております。残念ながら国分寺地区については、設置には至っておりません。</p>	
<p>想定外の事（震災など）がある状況ですから、なるべく組織成立のお願いをしているところですが、各自治会の状態にもよりますので、組織率が進んでいないというような状況です。今後とも努力をしていきたいと思ひます。</p>	
回答 2	
<p>自主防災組織の運営については、各自治会で避難訓練等を行っていただいている状況です。その訓練について、専門的な知識のある消防署等と市が調整して、訓練方法などを指導いただいています。</p>	

質問 3 思川開発に係る水道料金について	10 月 12 日（木）きらら館
<p>思川開発に絡む水道のことについて、「栃木県の地下水と表流水のバランスを確保する方針に賛同する」ということで県に方針を伝えたと話を伺いました。</p>	
<p>水道水に関して、県はどのくらい費用がかかるかということを試算して示しているはずですが、これによってどのくらい水道料金は値上がりするか、それはどの程度で、何年まで続くのかということも含めて明らかにしていただきたい。</p>	
回答	
<p>水道料金等の費用について、県で試算した数値は平成 25 年の 11 月に部会で示されてございますが、ダムの建設費用・施設の整備費用・20 年間の維持管理費用ということで、あくまでも試算</p>	

<p>したものです。今後、県が広域的水道整備計画を作るためにまとめている資料を市に提示いただき、計画の策定を要請するかどうかを判断する段階になって、試算ができるものと考えています。</p>	
再質問	
<p>東京オリンピック、その他の事情で費用は値上がりする可能性もあるが、県から既に一定の提示はあるわけで、現在、明らかになっているのは、20年間で下野市の負担が80億円以上で、一世帯当たりになると約40万円かかるということです。</p> <p>これらを明らかにするのが、将来に対する不安を残さないためにも市の役割ではないかと思えます。</p>	
回答	
<p>現在、県では施設整備の経費について調査を実施しています。具体的には、既存の施設を活かして、できるだけ効率的で実現可能な計画を策定するため検討をしています。その過程を見て検討をしていきたいと考えています。</p> <p>また、地下水と表流水のバランスを確保することについては、県の考え方に同調するというのと、危機管理のうえで2系統以上の水系を確保しておきたいという市の考えに基づいて調達する政策水量ですので、受益者負担として水道料金に跳ね返るかどうかは今後また検討する必要があると考えています。費用のすべてを水道料金にという考え方だけでは検討できないと考えています。</p>	

質問4 水道管の耐震化について	10月12日(木) きらら館
<p>水道管に耐震化のパイプを使わないと、地震等により断水してしまう。市の水道管路の更新率は1%以下で、100年経たないとすべて更新されません。2030年には県から給水が開始されますが、管路の更新は間に合いますか。施設が老朽化している中で、県からの新しい水を入れてもパンクしてしまうのではないのでしょうか。</p>	
回答(建設水道部長)	
<p>水道の配水管を耐震管とすることについては、現在石橋にもともとあった石綿管を更新しながら、耐震化を進めています。また、災害時の避難所に関しては重要給水施設管路更新事業として対応しています。重要給水帯の全延長は、約17.2kmあり、今年度末で約10km弱の更新が終わります。3年から5年で耐震性の高い耐震管に更新していきたいと考えています。</p> <p>その他の部分については、耐震性と管の対応年数を検査・検討しながら、災害時にもまちがいなく配水ができるような体制をとりたいと考えています。</p>	

質問5 通学路の安全について	10月12日(木) きらら館
<p>「守る家」の看板がたくさんありますが、子どもは自分から助けを求められません。「守る家」は必要ないと思います。</p> <p>子ども達が学校に行くときの横断歩道で、7年間子どもを渡していますが、私が現在立っているところで車は止まりません。子どもたちが渡っているときに、止まれず横断歩道の中まで入った車もあり、過去には接触事故もありました。今後、私の代わりに立って下さる方がいれば安心</p>	

して辞めることができるのですがと思っています。

「通学路注意」の立て看板は、運転手さんには何の効果もありません。私が見ている場所では、赤・緑・黄色等と道路が塗ってありますが、通学路に赤とか緑で色を塗ってほしいと要望していますが実行されません。対応をお願いします。

回答

通学道路の安全を確保するために通学帯に「公道グリーンベルト」を作っています。

今の制度ですと交通安全協会や警察でないと、規制標識等が設置できないという問題もあり、現地を調査した上で警察や学校とも協議をしながら、対応させていただきたいと思います。現状を改めて見させていただいて、また結果をお答えしたいと思います。

教育委員会でも、子どもたちの通学路の安全を確保するため「各学校からの要望書」を毎年頂いています。警察、県の土木事務所、国土交通省と協議しながら、安全確保の為の要望等、それぞれの機関に出させていただいています。現場を確認し、もう一度、状況を確認させていただきます。

質問6 自衛隊の空砲射撃について

10月12日(木) きらら館

教育環境のことについて、お伺いしたいと思います。

自治会の回覧板で自衛隊の空砲射撃についてのお知らせがありました。陸上自衛隊の基地の南に北小があり、授業中にこの空砲がなるというのは教育環境としてどうなのかと心配しています。

昔より振動は小さくなったと思いますが、授業中に空砲をならすということは差し控えていただきたい。教育委員会、学校はどのように考えていますか。

回答

自衛隊の空砲について、今日初めて聞きましたので、確認し検討させて頂きたいと思います。

質問7 不登校児の卒業後の対応について

10月12日(木) きらら館

近所や知人の子で中学・高校に入った後、不登校になってしまったというお子さんがいます。卒業した後、そういう人達の支援は法的に何かあるのでしょうか？

回答

不登校の子どもについては、市のサポートセンターがあり、そこのスタッフは常時電話で相談できます。中学校を卒業したからといって、関係は切れません。もちろん中学校時代の担任の先生等、その後も色々相談に乗ってくれる先生もいっぱいいます。また、教育委員会にも相談に乗ってくれるスタッフがいますので、遠慮せず電話をいただければと思います。

公的にこういう組織はありませんが、そういう繋がりの中で、子どもたちが大人になっていくまで支援していきたいと思っています。安心してお電話を頂ければと思います。

質問8 小中一貫校について

10月13日(金) 薬師寺コミュニティセンター

小中一貫教育について、市の教育大綱には、28年度から32年度にかけて様々な施策を実施し、

学校の適正配置や小中一貫教育を推進するとあります。南河内中学校区では、薬師寺小学校、吉田の西と東の二つの小学校を廃止して、南河内中学校に新たに校舎を設けて統合するというような内容です。

義務教育学校設置について、「中一ギャップ」の解消や学力の向上が期待できる、というメリットがあると聞きました。この小中一貫教育には、施設一体型と施設分離型があります。

歴史的な背景や地域の実情から、せめて薬師寺小学校に三校を統合することはできないかという質問に、市は「南河内中学校の大規模改修に合わせて、一体型にすることが適当である。また、小中一貫教育は施設一体型が有効である。」というご答弁をされています。

「南河内中、第二中学校区、石橋、国分寺地区は小規模特認校 2 校を除いて適正校で、つまり小学校で 12 学級以上 18 学級以下というのが適正、各小中学校の位置条件を考慮して現在の枠組みを保ちながら施設分離型の一貫教育を進める」ということもおっしゃっています。

南河内中学校区は施設一体型でないと駄目だという一方、他の地区は施設分離型の現状維持でいいというのは矛盾していないのでしょうか。3つの小学校を廃校すること以外は、よその地区は当面は手を付けない、とおっしゃっているようにも聞こえました。

そこで1つ目の質問は、施設分離型をとったとき、中一ギャップの解消は本当に図られるのでしょうか。

2つ目の質問は、1つの実験場として、義務教育学校というものが南河内中学校区に導入されるのか。また、石橋地区や国分寺地区も将来的にはそうした一体化教育をお考えなのでしょうか。

回答

小中一貫教育には、施設一体型、施設隣接型、施設分離型の3つの形態あります。平成28年4月1日から、国が法律で義務教育学校、施設一体型の小中一貫教育の設置を学校教育法の第一条項の中に認めました。下野市学校適正配置計画において、南河内中学校区は小中一貫教育、細谷小学校と国分寺西小学校は小規模特認校となりました。

小学校と中学校の連携を進めることによって、子どもたちがスムーズに小学校から中学校に上がれるよう、平成20年度から約9年間、夏休みを利用した模擬体験授業や小学校の教員による中学校の子どもたちの授業参観など、連携教育を進めて参りました。また、市の子どもは昨年と比べると約100名減っております。

1問目の回答として、小中一貫教育というシステムを使って、子どもたちが中学校に入る段階での障壁を一人でも多く無くし、小学校の子どもたちの生活の様子を中学校の教員に繋ぐ中で、しっかりと9年間を見据えての児童生徒指導が可能になってくるため、小中一貫教育の導入を考えています。

2問目の回答としては、南河内中学校区だけでなく、全部の12の小学校と4つの中学校すべてにおいて31年から小中一貫教育を進めて参りたいと思っています。

地域の皆さんとの話し合いの結果では、薬師寺小学校も吉田西東も、全体と一緒に小中一貫でいくのならそれが良い、といったような答えが返ってきました。

このタイミングで南河内中学校区を施設一体型でいくというのは、薬師寺、そして吉田西・東の学童数と、南河中の学童数が先生方にとって子どもたちを全部把握できるギリギリの生徒数になるのではないかと考えているからです。石橋中学校区を全部一緒にすると、先生が全然知らな

いような子ども達も出てきてしまう規模になってしまいます。また、廃校ではなく、一緒に合同で学校ができる。国分寺西小が同じような立場になってしまうが、西小も廃校になるのではなくて国小と一緒に施設隣接型の一体教育に入るといった形です。

<b>質問 9 耐震化した施設について</b>	10月13日(金) 薬師寺コミュニティセンター
<p>小中一貫校によって使わなくなる校舎について、これらの校舎は耐震(補強)工事を実施し、税金を使って多額の予算を投下してきた所だが無駄になってしまうのですか。</p>	
<b>回答</b>	
<p>大きなお金を使い耐震をやったというお話について、現時点でも校舎は利用しています。学校に行っている間の命を守る為に、将来的に仮に無くなると思っても、ここにはお金を掛けて安全を確保しなくてはならないと考えています。</p>	

<b>質問 10 市への要望の取扱について</b>	10月13日(金) 薬師寺コミュニティセンター
<p>市民から受け付けた要望や意見は文書にして、登録番号を作ってください。そのようにして全部把握できれば、整理・分析によって、今何をやらなければならないかということが判ると思います。市の施設、建物や道路等、すべてをいわゆる管理台帳で、全部番号化して、今の状況を把握できているのでしょうか。台帳を作って整備してもらいたいと思います。去年も申しあげましたが、公園のトイレが非常にひどい状況です。</p>	
<b>回答</b>	
<p>市政のご提案等の取りまとめについては、総合政策課で市政の提案として、メールや電話などでお受けしています。処理についてのマニュアルができており、処理をさせていただいています。</p> <p>また、各自治会の自治会長さんからの要望は、状況を検討しながら道路の修繕、整備等を行っています。生活道路につきましては、必ず検討委員会を開きまして文書等で回答しています。</p> <p>道路・公園・空き地等の除草等についての窓口が一元化されていないこと、大変申し訳ないとは思いますが。道路については建設課が、公園については都市計画、また空き地等の除草については安全安心課ということになっています。</p> <p>連絡をしていただければ、職員が適切な部署に誘導させていただきます。</p>	

<b>質問 11 大松山運動公園の宿泊施設について</b>	10月13日(金) 薬師寺コミュニティセンター
<p>大松山運動公園がオリンピックのキャンプ地になるようですが、宿泊施設無くて大丈夫ですか。</p>	
<b>回答</b>	
<p>大松山公園整備にあたって、栃木県を通じて、宇都宮市市内の宿泊施設に宿泊先のホテルとして相談に乗っていただいています。連携を図り、大松山公園もキャンプ地として利用できると思います。</p>	

<b>質問 12 表流水の利用について</b>	10月13日(金) 薬師寺コミュニティセンター
-------------------------	-------------------------

市長の考え方に「栃木県の地下水と表流水のバランスを確保する方針」とあるが、地下水だけで何故いけないのでしょうか。地下水だけだったら一体何のリスクがあるのか。濁水も殆ど起こらないし、水の量が足りなくなればまた掘れば良い。汚染の問題や地盤沈下も起こらないと思います。

表流水を利用すると下野市だけで9億円、あるいはもっと増える可能性もあると思います。本当にやる必要があるのでしょうか。

回答

現在の水道も安全性もあるからということで引いて、地域全体で使うことにより、料金も安価になったと思います。

現在、基礎調査を県が実施しており、今それに関して私が判断する段階に至っていません。

将来にわたって安全な水道水の安定供給を確保するために、地下水と表流水をバランスよく利用することが必要だと考えています。地盤沈下によって小山や野木が地下水を利用しなくなった状況で、絶対地盤沈下は無いとは言い切れないと思っています。

地下水は汚染がないという部分についても、60メートルの井戸から亜硝酸窒素が出ました。もっと深いところを掘ればとも思いますが、60メートルの深さで出てくるということは、これからもこういう可能性はあると考えざるを得ないと思います。

水道管理者として、想定外を起こしてはいけないものですから、1つだけの方策ではなく、必ずそれに対しての補助策を考えておかなければならないと思います。全部地下水で100%絶対安全だという確信が取れるのであればよいのですが、現時点において確信というものは非常に難しいと思います。

ただし今後の方針については、県から正式に検討結果が示され、それを隣接する地域の壬生町、栃木市、野木町、小山市の皆さんと協議し、方向性を決めていくこととなります。そのときにまた市民の皆さんにご意見を伺いたいと思います。

再質問

下流の小山、野木の問題等を絡ませて考えなければいけないとおっしゃっているが、一番上流部にあるところが地下水をとって、それで100%でいけるなら特に何の問題もないと思います。表流水の問題は、汚染だとか色んな環境の影響を受けやすく、不味いということを市民と本当によく話し合っ、そういう議論をしてほしいと思います。

回答

下流域は大変な思いをして表流水を利用しています。広域的なこの地域は、災害協定を結び、前回の災害のときも水を供給するといったことをしています。状況を鑑みながら近隣と仲良く、そして市民の皆さんと色々な話をしながら進めて行きたいと思っています。

質問 13 水道水の水源について

10月14日（土）ゆうゆう館

市の水道水源は100%地下水です。市は川の水を、水道の水源として使うことを考えているということですが、水道水が不味くなり、新しい設備を作る必要がありますので水道料金も上がり

<p>ます。県から情報が無いということですが、専門家の試算によると、下野市の場合 30%から 60% 値上がりするということを言っております。川の水を使うと、市民の負担がかなり大きくなります。</p> <p>水道料金がこのくらい上がるのだという数値を示し、これくらい高くなっても不味い水道水を買うこの事業を、進めても良いかと市民に問うべきではないでしょうか。</p>	
回答	
<p>料金の設定については、県から様々な条件が示されていませんので、現在は言えない状況であるご理解いただきたいと思います。</p> <p>河川の水が、そんなに不味いとは思ってはいませんし、掘削深が 60m の井戸から亜硝酸窒素が出たということを考えますと、いつまでも地下水が絶対安全とは考えきれないと考えています。そこで、1 つの水源地から水をとるよりは、不測の事態に対しても賄えるような状態を作っておかなければいけないと考えています。</p>	
再質問	
<p>地下水に亜硝酸窒素がでたということですが、地下水をくみ上げる井戸を一本掘るのに、一億円ほどしか掛かりません。現在、井戸は全部で 30 数本あります。一篇にそれがおかしくなることも考えられますが、1 本、2 本に、そういう問題が起こった場合には対応できます。</p> <p>地下水と表流水の 2 つを使った方が、バランスが良くてリスク分散できるということですが、両方とも、もとは天から降ってくる雨です。それが表面にあるか、地下にあるかというだけの問題です。2 系統の場合でも、最初に汚染される表流水は、まず使えなくなりますので、むしろリスクを高めていると思います。</p> <p>できるだけ市民に負担が無く、水道水を安くておいしく供給していただきたい。表流水を使わないようにする方向でお願いしたいです。</p>	

質問 14 水道水の水源について	10 月 14 日 (土) ゆうゆう館
<p>川の水を使うことのメリット、デメリットを、水道料金のことを含めて、しっかりと市民に対して説明する必要があると思います。説明会を実施すべきだと思います。</p>	
回答	
<p>地下水は、長い年月をかけて浸透し綺麗にろ過されたきれいな水で大切な資源です。表流水は、その瞬間降ったものが流れていく資源で、放射性物質が入ってしまう、あまり綺麗ではないのではという話もありますが、しっかりと浄水場でろ過し、検査をした上で利用できるようになります。この資源を活用することも、大事な考え方ではないかと思えます。</p> <p>河川水を使うことにはメリット・デメリットありますが、必要性があるのではないかと捉える、とご理解いただければと思っています。</p>	

質問 15 人権問題について	10 月 14 日 (土) ゆうゆう館
<p>2 年前に差別を受け半世紀近く生きてこられた方を知り、市長に 2 度手紙を書きました。市長がその地域に行って話をすることが一番有効な事だと書かせていただきました。お返事は頂けま</p>	

せんでした。人権擁護員といった人たちの協力を得ながら現在まで来ていますが、未だに地域には戻れず、自治会に入ることもできません。

その方は、もう 80 歳を超えておられます。自由な身に成れますように、お力をお貸し下さい。

回答

すべての市長宛の手紙などは、市長が直に読んでいます。確認させていただき、改めてお返事や対応を検討させていただければと思います。

質問 16 国分寺西小学校の再編について

10 月 14 日 (土) ゆうゆう館

子どもの教育と職員育成についてお話があります。

国分寺西小学校廃校に向けて市からの圧力があつたと聞きました。1 人の先生が全体を見渡せる人数というのは、18 人と聞いて、西小学校はすごく良い環境だと思いました。2 年生が 1 人もいない状態なので、特認校としても続けられないということも聞きました。学校としてまだ続けてほしいので 1 学年だけでも、西小学校の使える教室に来て自然の環境を見てほしいと思います。今の 35 から 40 人学級では、十分な教育がされてないと思いますので、2 クラスに分けてほしいという希望もっています。先生になりたい人はいっぱいいると思います。

子どもがだんだん減っているのに縮小化して、西小も無くして、学校の職員を減らして、費用の削減対策かもしれないですけど、子どものことを考えているのかと思います。そういう圧力を掛けることが本当にいいことなのか疑問に思います。

回答

今年度は、学校適正配置基本計画の検証時期になりましたので、この計画に基づき下野市適正配置推進協議会をスタートしました。この中で、国分寺西小学校の子ども達が適正な人数の中で切磋琢磨しながら、もっている力を最大限に伸ばせるようにという思いで向き合っています。

小中一貫教育ですと 1 年生から 9 年生までを通して見る中で、6・3 の制度でなく、自由に学年を区切ることができます。子ども達のつまずきに関しましても途中で、何処で躓いたかを、しっかり確認できるようなシステムが作れます。

また先生方も、小学校 1 年生担任の先生が 9 年後に、児童から生徒になって巣立っていく姿を確かめながら子どもに関わっていくことができるシステムです。

圧力というお話でしたが、結果的にはそのように伝わってしまうのかなという思いです。実はこの西小学校、「廃校」ではなくて「再編」という部分で、子ども達を中心に考えております。

子ども達が社会に出ても活躍してくれる力を、義務教育 9 年間で身に付けさせていく為に、小中一貫教育をこれからの教育に必要なシステムであると考えて、この適正配置のことも考えさせてもらっています。

再質問

今後、国小に行く際のスクールバスは、確実にお願いしたいと思います。

直ぐに小中一貫校にせず、少ない学校で学びたいという人もいますので、配慮をお願いします。

<b>質問 17 住民税の納付について</b>	10月14日(土) ゆうゆう館
<p>住民税の納付について、平日の銀行・郵便局・市役所でしか支払えないと期日までに支払えないことがあるので、コンビニ払いや口座引き落とし等を考えて欲しいと思います。</p>	
<b>回答</b>	
<p>税金の納付につきましては、多くの方々の状況に応じて、市で相談に応じております。会社経営の場合、その法人の係る特別徴収は、コンビニ払いができなかったのだと思います。口座振替につきましては、金融機関に相談しまして円滑にできるよう調整していきたいと思います。</p> <p>緊急の場合には、毎週火曜日に開庁時間を午後7時まで延長しており、その日に来ていただければ納付ができるようにしています。</p>	

<b>質問 18 ブランディング動画について</b>	10月14日(土) ゆうゆう館
<p>来週火曜日公開のブランディング動画についての意見・感想になります。</p> <p>とにかく栃木県に下野市という市があるということをもPRするためのもので、刺激的なくらいがちょうどいいのかと思っています。その為には、どんどん市がイベントなどをやっていく必要があると思います。</p> <p>皆さんに下野拳の型をマスターしてもらい、市長もぜひその型をマスターしてテレビに出て、ワイドショーで取り上げられるくらいではないと、このプロモーションビデオを作った意味がないと思っています。</p>	

<b>質問 19 水道水の水源について</b>	10月14日(土) ゆうゆう館
<p>水道水の問題について、市民すべてに知らせてもらいたいという要望をしましたが、市から報告がありません。説明できないような内容、方向性に進むというのは違うのではないかと思います。</p> <p>地下水はおいしくて安全というのに対して、表流水は放射性物質等により危険ではないでしょうか。もう少し慎重に考えて欲しいと思います。</p>	
<b>回答</b>	
<p>地下水も表流水も確かに雨ですが、利用するまでの時間という部分が違います。</p> <p>現在、すべて表流水でやっている場所もあり、非常に安全性にも気遣って浄水施設を活用して頑張っています。野木町と小山市が地下水を取水していないから地下水が潤沢だということは、なかなか証明できません。しかし地下水は、線を引いてそこから下野市でここから小山市ですというのではなく、地域全体で考えていかななくてはならない問題です。栃木市と壬生町は下野市と状況が一緒で、同じ様に地下水でやっています。幾分かでも表流水を利用し、下流で頑張っている人達と一緒に考えていかなければならないと思います。</p> <p>そして今後もずっと地下水で間違いのないと言いきれば良いですが、1系統よりも2系統もっている方が安全であると考えています。</p> <p>地域で平等に様々な整備をし、安全な水というものを享受しようということで、上水道も皆さんのご理解とご協力をいただきたいと思います。下野市は近隣でもトップクラスに水道料金が安</p>	

いと思います。一生懸命考えながら水道料金を抑えて、今日に至っているということもご理解いただければと思っています。